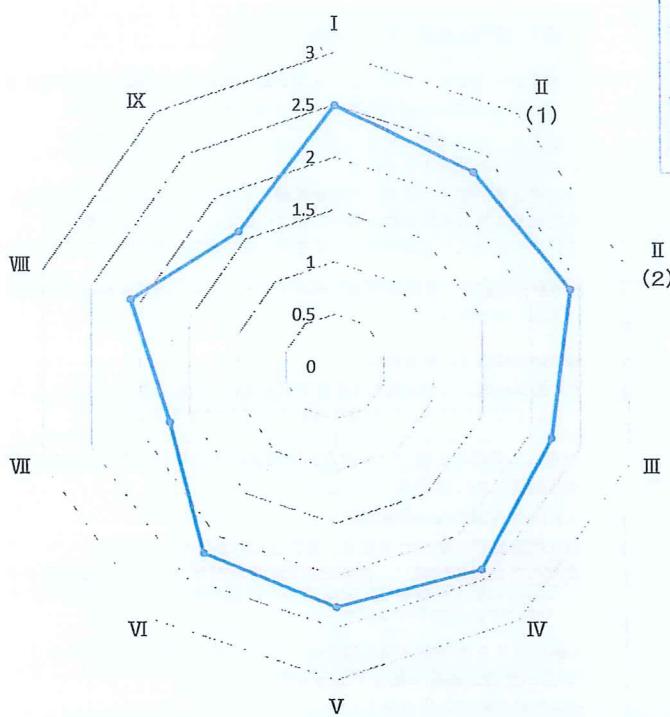


1. 自己評価結果

この結果は、自己点検・自己評価表の9つの領域 50項目 184の評価視点に沿って自己点検・自己評価したものである。

令和3年度 自己点検・自己評価結果



I	:学校経営	「2.5」
II (1)	:教育課程・教育活動	「2.3」
II (2)	:教育課程・教育活動	「2.4」
III	:入学・卒業対策	「2.2」
IV	:学生生活への支援	「2.4」
V	:管理運営・財政	「2.3」
VI	:施設設備	「2.2」
VII	:教職員の育成	「1.7」
VIII	:広報	「2.1」
IX	:地域との連携	「1.6」

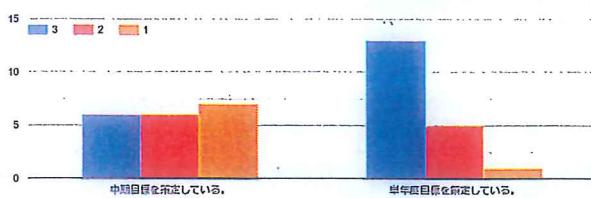
評価結果
2.2点

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
I	2.5	2.3	2.4	2.5	2.3
II (1)	2.3	2.3	1.9	2.4	2.1
II (2)	2.4	2.4	2.4	2.7	2.4
III	2.2	2.2	2.5	2.7	2.4
IV	2.4	2.5	2.5	2.7	2.4
V	2.3	2.4	2.4	2.5	2.2
VI	2.2	2.2	2.2	2.4	2.2
VII	1.7	1.7	1.7	1.9	1.6
VIII	2.1	2.1	1.7	2.4	2.4
IX	1.6	1.3	1.3	1.6	1.5
	2.2	2.1	2.1	2.38	2.15

令和3年度 自己点検結果

I 学校経営

1. 当校は、学校のビジョン及びそれを実現する ために中期（3年）目標と単年度目標を策定している。



①3年間のイメージと目標はあるが、実施までいかず。単年度の目標は学年の目標と考えている。

②中期目標はよくわからない。

③4月教職員会議で前年度評価および今年度目標が出されている。

④単年度目標は、教職員会議で文書で報告。中期目標把握していない。

⑤目標が今一つ教職員全体で理解できていないので、病院みたいに掲示したほうがいいのではないかと思います。

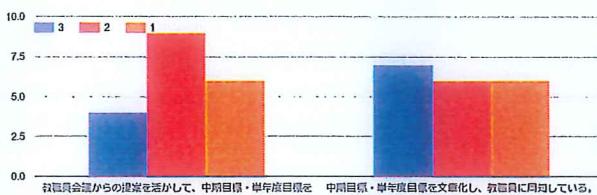
⑥中期目標が策定されているのか把握出来ていないため分かりません。

⑦中期目標を把握していない。掲示するか議事録等に記載すると確認しやすい。

⑧具体的に何が中期目標なのかがわからない。各部署に目標を掲示するところに意識ができる。

⑨学校のビジョンに実現するための目標はあるが、時間管理ができないおらず、講義、クラス、実習の重複により、その日その日を何とかやっている感じになっている。

2. 策定した目標を教職員に周知し、教職員の提案を活かしている。



①期初の教職員会議で目標を周知している。

②出来ている部分とできていない部分がある。

③視覚的に周知できていない。中期目標は教務室や事務室等に掲示する。

単年度目標は教職員会議のレジュメを閲覧できるようにする。

④教職員からの提案と言うよりは、出された目標を確認する状況

⑤中期目標は周知されていない。

⑥中期目標が策定されているのか把握できていないため分かりません。

⑦教職員会議で発言がないので目標にいかされているのか疑問です

⑧目標がどのように策定されるかを知らないので、提案が生かされているかわからない。

⑨単年度目標は、教職員会議で周知されているが、中期目標は周知されているのか分かららない。

⑩中期目標について不透明。

⑪教職員会議からの提案で単年度目標の策定に関わる内容と捉えていなかった。ビジョンに合った教職員会議の内容を考えるようにする。

⑫期初の教職員会議で、昨年度の目標達成状況及び本年度の目標を周知している。

⑬教職員までには周知していない。

⑭教職員会議で報告があるから。

⑮目標評価は実施されており、資料として提示されている。

⑯教職員会議の記録 達成のための手立てがされているとは思えない。
業務の実態を把握することなく一方的な目標、個々の業務内容の不公平さ（やらない人はやらない）

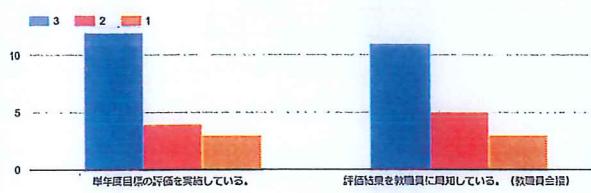
⑰評価結果を教職員会議で通達はしているが、周知できているかよくわからない。

⑱4月の教職員会議で報告があるため

⑲教職員会議で報告されている。

⑳単年度目標を立てていないため評価できていない。単年度目標の策定をしっかり行う。時間が欲しい。
(時間を作るようスケジュールを立てるところから)

3. 目標（単年度）に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知している。



①中間評価は時期的にみて困難である。

②学年のクラス運営に対してはできるが、学校のビジョンまでには到達していない。

③現段階で中間評価がないため、評価できない。

④中間評価はされていないのでは。

⑤意見が反映されているとは思えない。

⑥大きな目標ではなく、その都度検討されており、年度に対する目標に反映されているかといえば、そうではない気がする

⑦中間評価が実施されているのか把握していないため分かりません。

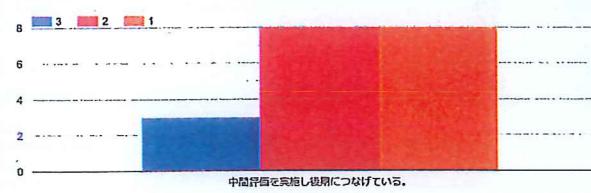
⑧中間評価を実施しているのかわかりません

⑨中間評価がされているのかを知らない。中間評価がされているのであれば、周知してほしい。

⑩中間評価は実施されていないので、今後前期終了後に行う。

⑪講義評価・実習担当の評価は、評価後次へ活かしている。

4. 評価を次年度の目標につなげている。



特になし

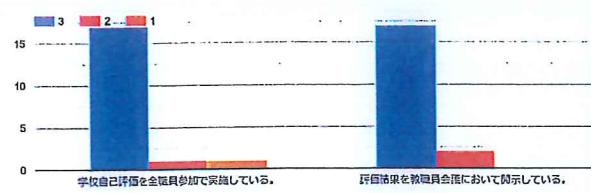
評価を次につなげる努力をしている。

周知されている

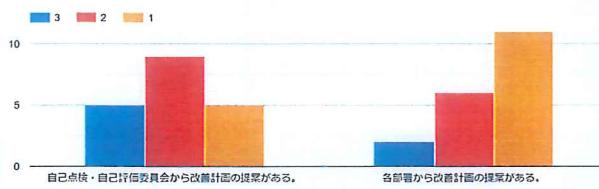
開示しているが、評価の分析については一方通行のようになっている。皆さんからの意見がない

具体的にどのようにしていくのか改善策は各自なので、結局は自己で考えるだけでは。

5. 当校は、自己評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知している。



6. 評価結果から改善計画を策定している。



各部署からの改善計画提案については、項目により差がある。

計画はあると思うが自分が把握していないことが多い

各部署の改善計画が具体的でわかりやすい説明が行われていない。

評価された後の改善策についてすぐには検討されていない。

上記同様皆さんからの提案はほとんどなく、受け身となっている傾向が強い。

提案がなされているのかどうかの現況を知りません。

改善計画案が委員に上がってない。いつ、どのタイミングで誰に上げればいいのでしょうか。

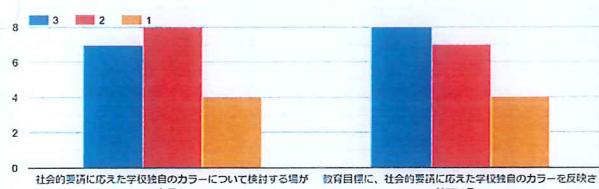
平成31年度に各部署から提案をしたまで最近は行ってない。

委員会からは、評価点の特に低い項目に対し、その原因と可能な対策を教職員会議に提案している。ただそのことが実施されているかの確認までできていない
改善計画の提案があったかを把握していない。

評価結果の報告のみで、改善計画の提案までには至っていない。今後の課題。

具体的にどのようにするのか説明がほしい。

7. 特色ある学校づくりを進めるために教育内容...実際に努めるなど学校独自のカラーを出している。



学校独自のカラーを新カリキュラムに盛り込みすぎである。

特になし

運営会議や教職員会議で検討されていると思う

今年度はカリキュラム改正があったため、検討する機会が多くたのではないかと思う。

宗教看護専門学校に求められる社会的要請が何かはっきりしていない

新カリでカラーが出てていると思います。

社会の要請に反映させているつもりだが、昨年まではカリキュラム改正により検討する時間が無い。

検討する場が設けられているのかや、学校独自のカラーをハッキリとは把握できていないため分かりません。

今回の改正カリで出来たと思う。

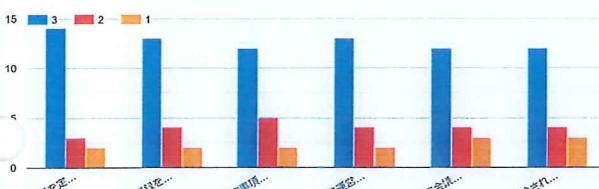
ホームページなどの見直しの際、プロジェクトを立て検討することがある。

検討する場に参加したことなく、反映されているか分からず。

改正カリの際に検討されていた。具体的な独自のカラーは曖昧である。

地域と暮らし実習など地域に特化した内容になっている。また、ホームページを変化させ学校の特色がでていると考える。

8. 運営会議が、学校運営に関する議論の場として機能している。



学生のことや全てにおいて話し合いが日々行われていると思う。

運営会議は進級や卒業に関すること以外は認識がなく運営との関係を知らない。運営会議での議題を周知する（議題、議事録の保存場所を、会議終了後にデスクネット、などで周知すれば認識は高くなる）

会議を定期的かつ効率的かというと効率的ではない。運営会議は開かれても、議事録を見ることなく、聞くだけにとどまっている。

会議に関わっていないのでわかりません。

決定事項の周知が出来ていないところがあるので、議事録をデスクネットで回覧したらどうか。

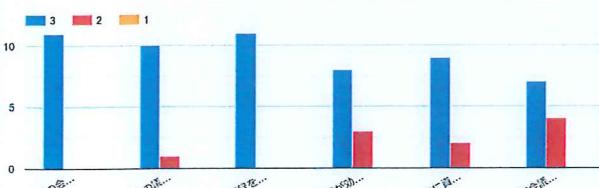
決定事項については、教職員会議で必ずしも報告していない。ただし、関係部署、関係者には個別で報告伝達している。

運営会議が行われていることは知っているが、関わっておらず議論の内容等を知らない。

運営会議に参加していない。教職員会議で報告された情報しか知らない。

運営会議で議論された内容が討議されているかどうかがわからない。

《教員》9. 教務会議が、学年及び各看護学の目標達成
や年間指導計画実施の場として機能している。



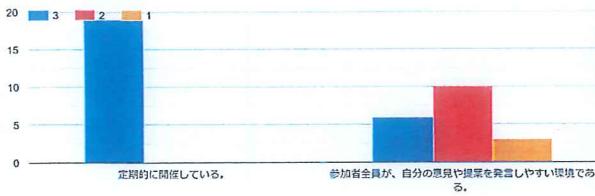
教務会議においては資料など事前に確認し、準備するように心がけている。わからないことは確認しながら進めている。

今年度よりドライブでの閲覧ができるようになったため、資料の確認がしやすい。

会議資料は2日前というルールを設けることで、ほぼ提出されている。しかし活発な意見は一部の教員に留まる。意見をいえる環境を作るだけでは意見は出ない。一人一人の意識の課題がある。

教務会議の運営は、以前に比べ、かなり効率よく機能している。時間管理は、まだ課題としてある。その理由は、参加者に時間意識が低い、建設的な意見、代替え案の提示が少ない事で、なかなか結論に達しない。

1.0. 教職員会議が、意見交換の場であり、情報共有の場として機能している。



以前に比べて話しやすい雰囲気だと感じている。

意見は出ていると思う。

時間に追われる雰囲気が、少なからず感じられる。議題に対して意見交換がほとんどされていない。

発言しやすい環境であるかどうかは捉え方や感じ方に個人差があると思うので何とも言えませんが、発言できるかどうかについては、その場ですぐには中々意見が浮かばないので、事前に会議の内容を把握できていれば、発言できることもあるかもしれません。

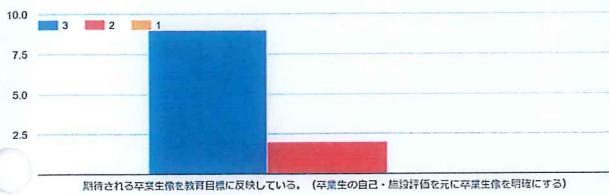
意見交換の場となっているかは疑問だが、情報共有の場にはなっていると思う。

活発ではないが、必要な意見交換はされている。

意見を言うと追い詰められるように感じることが多い

II 教育課程・教育活動（1）

《教員》 1. 教育目標に、養成する看護師の卒業時において持つべき資質を明示している。

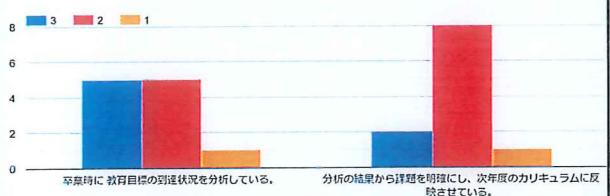


卒業後をイメージしながらクラス運営を考えている。卒業後の学生の評価はできていないため、今後行っていきたい

理想となる看護師像を基に学年目標を明確にしており、経営案を評価している。

目標はあるが、そのために何をしないといけないのかは明確化されていない。

《教員》 2. 卒業時の到達状況を分析している。



自分の科目に対する評価は自分なり分析を行い次年度に繋げる努力をしている。

分析の結果を次年度のカリキュラムに反映させるのは時期的に無理ではないと思う。分析ができるのが年度末になるため。中間評価で検討する方が現実的。

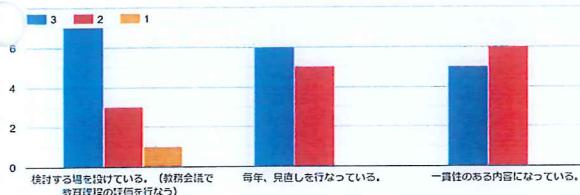
次年度のカリキュラムに反映させるのであれば、卒業時よりも早い時期での分析が良い。

卒業時だけでなく、半期に1回は評価している。

カリキュラム評価を実施しているが、文章としてまとめられたものがない。

到達状況の分析はしているが、次年度のカリキュラムに反映されているところはみていません。

《教員》 3. 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっている。



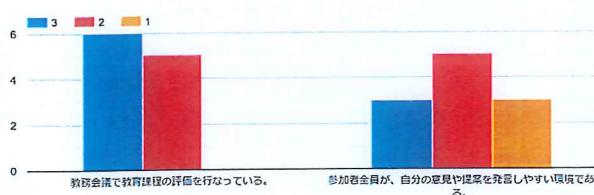
新カリになり日々検討しながら行うよう心掛けている。毎年見直し、現状にあったものにしていかないといけないと考えている。

皆で話し合っているので認識できていると思う。

改正カリキュラムにおいて全教員で共通認識をしたつもりである。一貫性があるかどうかは今後評価したい。

教務会議で見直しをしているが、一連のつながりを評価する形にはなっていない

《教員》 4. 定期的に教育課程の評価を組織的実施している。



今後、積極的に評価を実施しながら改善していかなければと考えている。自分の意見に関しては、以前は、言わなければいけない雰囲気があり躊躇していたことが多かったが、今は否定もせずに各自の意見を言っていると思う。自分自身も自分の意見を言って嫌な気持ちなることなく話しやすい雰囲気だと思っている。

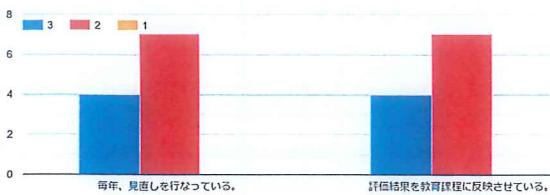
話がずれることも多いが、それだけ発言できていることだと思う。

会議全般について書いた通り、発言者が決まっている。

指摘にとどまり、建設的な意見が少ない。

意見を話すと追い詰められるような環境である

《教員》5. 時代の要請・変化にあったものに修正している。



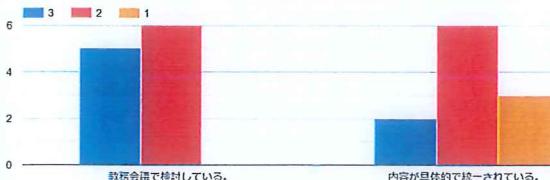
見直しをしないといけないと感じているので実施していきたい

今年度はカリキュラム改正で繁栄できたと思う。

毎年行っているから

見直しを努力しているが、あまり変化を好まない見直しになっている

《教員》6. シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすいものになっている。



会議などの検討はできていても、全体の順序性を考えると統一できているかわからない

形式も統一されていると思う。

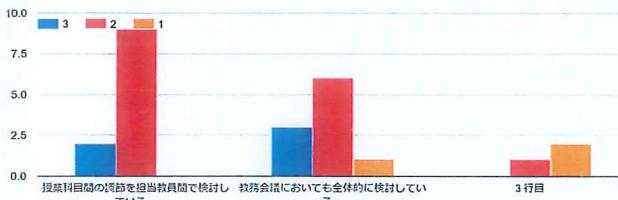
内容については、外部講師との検討も必要

カリキュラムが変わり内容については、具体的かどうかまだ、評価できない。

新カリの検討でかなり、内容を共有するようになっている。

わからないことを質問しても、「知らないんですか」とだけ返ってくる。

《教員》7. シラバス（授業計画書）は、授業内容と一致している。



新カリについては、今年度、一人のため、まだ実施できていないが、毎年検討しながら学生の学びに繋げていけるようにしたいと考えている。

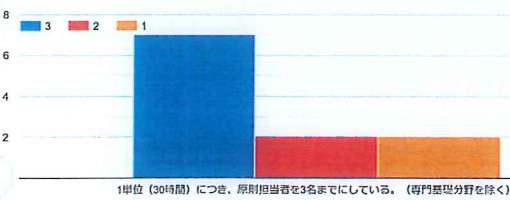
普通に話はできている。

科目間の調整を専門会議として夏休み以降から行う予定

担当教員自身が、気になるところは調整をしている。まだまだ個人レベルを感じる

担当教員間で検討しても、確認したことと違う内容を話されたり、そんなことを言ってないと言われたり、違う内容を言わされたりした。検討になってないし、つらいです。

《教員》8. 授業の一貫性を確保するために、1科目の担当者数を最小限にしている。

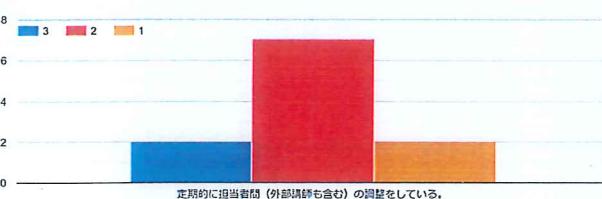


今年度は出来ていないが、新カリから外部講師を含め担当を3名にしている。

外部講師の場合、1科目5名程度入っている科目もある。専門へ投げかけている。

いまのままで大丈夫です。

《教員》9. 1科目の担当者が複数の場合、担当者間の連携を十分に図っている。



今年度は出来ていないが、新カリから外部講師を含め担当を3名にしている。

外部講師の場合、1科目5名程度入っている科目もある。専門へ投げかけている。

いまのままで大丈夫です。

一人で行っているため、していない。外部講師の場合は外部講師に学生の状況は伝えている。

外部講師の場合は、授業資料を事前に確認し内容が重複しないようにしているが十分に連携しているとは言い難い。

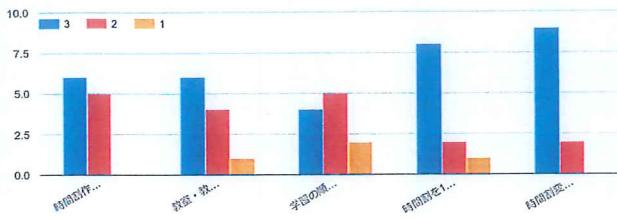
テスト内容（範囲）についても話し合うことができている。

外部講師との調整ができていない部分もあるが、今年度より各担当者が決まったことで連携もできるようになると考えます。

自分の専門領域では、外部講師を同士が直接話すことはできないが、教員が間に入り実施している

気になるところのみ、内容の確認程度になっている。

《教員》10. 効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整している。



自己の科目については相談しながら調整はできている。

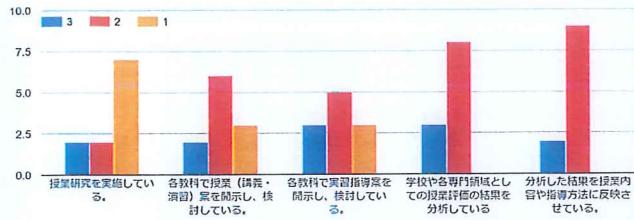
学生配慮: 前に、デスクネットで回覧し、調整している。

時間割変更を最小限にとどめたいが、外部講師の依頼が多く難しいのが現状である。そのため学習進度を変更せざるを得ない状況もも発生している。さらに今年度は講師の交代によりさらに困難な状況となった。

順序性は、外部講師の変更やコロナによる影響などで困難な場合がある

新カリの分は順序性が難しい感じがする。

《教員》11. 授業内容や指導方法が学生のレベルにあうよう工夫・改善している。



授業研究はできたりできなかったりである。自分のメモとしての授業案はあるが、検討まで至っていない状況である。今後は学生の授業評価をもとに検討していく授業評価については分析できているが、授業案の開示・検討はできていない。

演習の授業案は開示しているが講義の授業案は各個人のものと考えるため開示はしていない。また、授業案を考えても開示する時間が無い。各専門での授業評価はできていないため、専門での会議を定期的に実施し評価を行いう計画を立てることが必要。

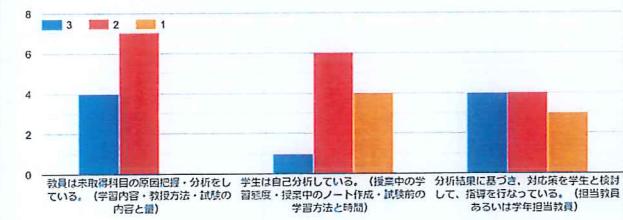
各個人で授業評価はしているが、公表しておらず、全体で検討まで至っていない。しかし領域横断科目については徐々に全教員で検討していく予定である。

授業研究までは実施していない。指導案は、演習など他の教員が参加する講義では、ある程度部分的に開示し調整している。授業評価の分析と反映は、個人の裁量どまりで見えない。

研究というものにはなっていないが、学生の評価を取り入れ、効果的な方法を専門で検討し講義に臨んでいる。

II 教育課程・教育活動（2）

《教員》1. 単位未取得科目を修得するために教員側と学生側で対応策を講じている。



未取得科目をもつ学生とは定期的に面談や学習状況を確認しながら学習の指導を行っている。学生自身が自己的分析まではできていないので分析できるような指導を行っていく

自己分析ができる学生であれば、単位を落としていない。教員が未修得科目の原因を把握するのは必要なのか疑問。

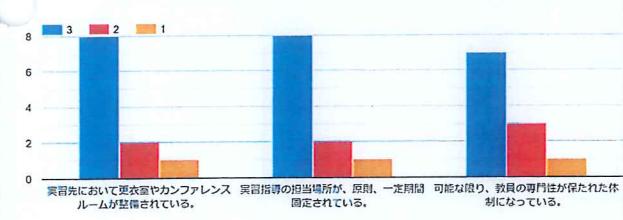
クラス担当は経営案評価の中で分析している。しかし昨年、今年度前期までカリキュラム改正及び、教員が不足しており学生と対策を検討するまで至らない。

クラス担当教員が中心に行なっているが、クラス担当教員と各専門領域での評価も必要。

学生の自己分析は、低迷者になるほど困難であり、面談などで指導しているが結果になかなかつながらない。常に課題である。

学生が分析できるように関わりたいのに、一緒に考える時間がない

《教員》2. 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っている。



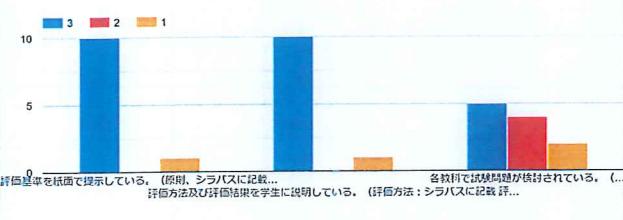
自分の科目に担当になっているので実習は問題なくやっていける

専門性が保たれた体制にすることは難しいが、事前に各専門との検討が行われていれば良いと考えます。

この点は毎年問題ない

男子更衣室がないことが多い。カンファレンスルームも確保されていない場合が多い。実習先の担当場所が離れた場所で複数あり現実的に無理です。

《教員》3. 学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。



現時点では口頭では示すも紙面等ではできていない
できている。

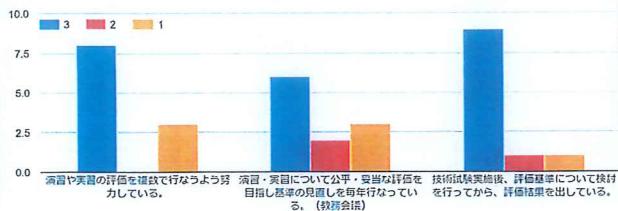
全ての教科で試験問題の検討されているわけではない

シラバスに掲載しており、講義の初回には必ず説明している。

試験問題の検討は、外部講師について行なうことがあるが、誤字脱字等の点検がほとんどである。教員の試験問題も、他の教員が点検するが、質の検討までは出来ていない。

試験問題の検討はされているが、お願いすると断られることが多いためストレスになる。

《教員》4. 評価の公平性・妥当性は保たれている。



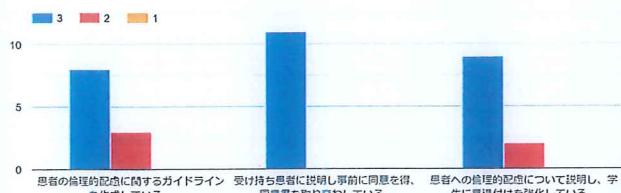
評価で悩んだ際は検討している。学生の背景が異なるため、毎年の評価は必要を感じている。

できている。

今年度はまだ実技試験がないが、昨年までは実施していた

実習に関してはループリックがあるが、個人での評価になる。評価がしにくく相談しても答えが返ってこないためどうしたらいいのかわからなくなる。

《教員》5. 実習における患者への倫理的配慮に...し、患者などに同意を得た上で、実施している。



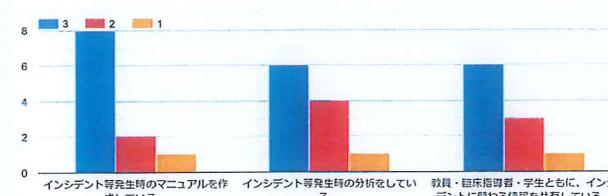
個人情報については学生に指導し徹底させている。

同意書は取れているが、ガイドラインがあるのはわからない。

倫理的配慮に関するガイドラインは実習要項に記載されているが、学生がそのことを意識していないことがある。同意書を交わさなければいけないために行っている様子。(ルールとして)

同意書もなかなかとれない場合があるが、改善されない。

《教員》6. 実習において、学生が関係したインシデントなどを把握・分析している。



インシデントが発生した際には学生とともに振り返りを行っている。

学生がすべてのインシデントをどこまで把握しているかはわからない。

インシデント発生時の分析はまとめて実施している。情報共有の方法が統一されていないため、検討中。

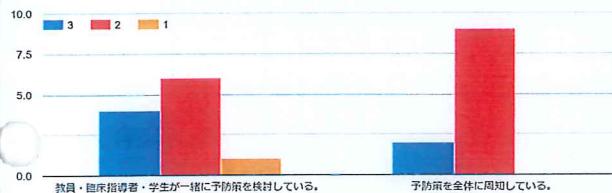
インシデント情報を学生・臨床指導者にしていない

改めて評価分析をしており、次に生かせるような内容となっている

学生のインシデント報告はしているが、その事案についての教員側の分析はない

インシデントが発生すると分析するが、担当教員へ丸投げになり負担が多い。臨床指導者学生ともに共有はなかなかできないのが現状。

《教員》7. 実習におけるインシデント発生に対する改善策を講じている。



集計と分析が報告されておらず、事前の対応などにいかされていない。

学生間とは次に同じことを起こさないようにどうすべきかを話している。

レポートを回観している。

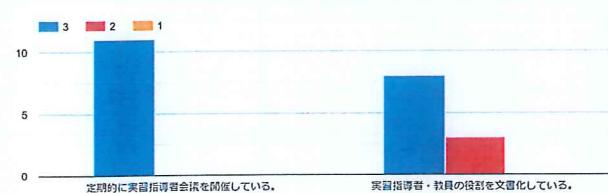
教員間での検討はできているが、臨床と共に検討ができていないため、指導者会議等を活用する。

インシデントを学生全体で把握することは現時点でできていない。学生からインシデントについての振り返り行動が見られないため、時間を設けて行う必要があると考える。

予防策を一緒に検討することは少なく、教員と臨床の検討は行っている。また教員と学生間も、ケースによって行なことがある。常に全体の周知が出来ているとは限らず、個別なケースは、対象学生までとどまり、学生の主体的な周知に依存してある場合がある

三者が一緒に考える時間を設けることができないのが現状。予防策も担当教員に負担しない。

《教員》8. 実習指導者と教員の役割を明確にしている。



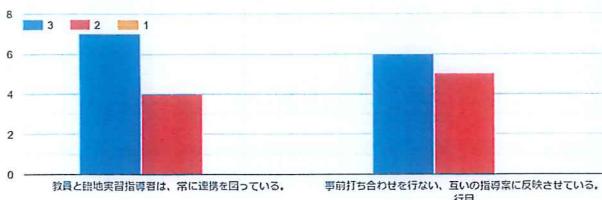
出来ていると思う。それぞれの役割を分書にしてなくとも確認は行っている。

実習指導要領に明示してある。

今回の基礎実習要領でそれぞれの役割を文書化した。

実践は実習指導者、記録は教員になっている。

《教員》9. 実習指導者と教員の協働体制を整えている



連携は図っているが、実習場所においては指導案がなく、実習要領で指導になっていない

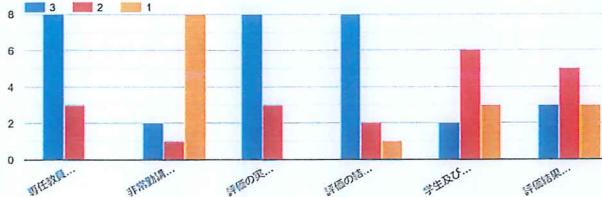
できている。

水光会病院とは学生の事例検討を毎月行っており、互いの指導方法について検討する場がある。

連携を図る努力をしているが、まだ十分ではない。事前打ち合わせが形骸化している面もある。教員側の意図的な連携が薄い。

指導者と事前に打ち合わせはしているが、その日の担当看護師まで連絡がいっていないことがほとんどです。

《教員》10. 学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し、授業の改善に努めている。



非常勤講師の評価については知らない。

非常勤講師の評価はできていない。実習施設には学びを共有しながら実習の成果は伝えている。各科目での検討はしているが教員全体までは検討はできていない。

授業評価を基に改善するよう努めているが、非常勤講師がどのような評価を行っているかはわからない。

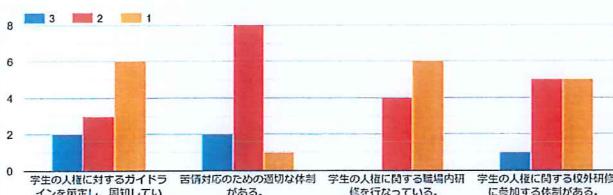
授業評価の結果で必要と判断されたものは指導者会議や教育連絡会などで実習施設に伝えている。結果評価を教員全体で検討することができないため、年度末で実施計画が必要。

内部講師は全員評価しており、おそらく講義に反映しているものと考える

授業評価は、教員個人レベルにとどまっている。全体での検討を計画しているが、諸般の事情により実施できていない

評価は真摯に受け止め、次に活かしている。実習施設に結果と伝えてはいない。

《教員》11. 学生指導において、学生に対して人権の配慮がされている。



苦情などの窓口が一本化されていない

学生には人権学習は行っている。

ガイドラインはあるのかもしれないが、周知できていない。職場内研修や、校外研修はコロナ禍のため実施できていない。

人権に対する職場内研修はできていない。教務会議や教職員会議等で時間を設けて行えると良いと考えます。

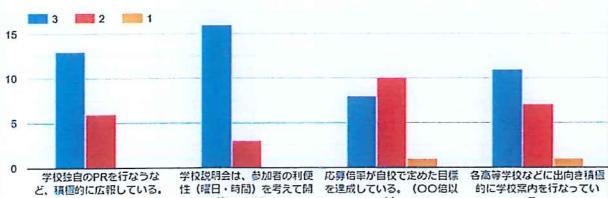
人権については各自で研修に参加するようになっている。また近年のジェンダーの問題については、合理的な配慮における文章を現在作成中である。当校の苦情対応のための体制が確立されておらず、その都度関わる担当者に一任している状況がある。

ガイドラインはない。授業評価は副校長も共有し、学生の意見が空き出来るようにしている、また意見箱の設置もしている。問題があった場合、教務会議やミーティングで情報共有は行っている。定期的な研修が実践できていない。

学生の人権に関する体制や研修を知りません。

III 入学・卒業対策

1. より多くの応募者を確保することに努めている。



応募倍率の目標を明確化していないが、概ね2倍以上を目指している。

学校訪問を行い、アピールしている

現段階で募集はされていないため、応募倍率はわからない。(昨年度でのいいのか?)

ホームページ等の情報が遅れ気味になる。高校での説明会については、感染状況等の影響があり、限定的になっている。固定的な受験者、入学者の確保としては、指定校制度も検討

学校訪問の時期のみ実施。

コロナ禍において、可能な限りでは出来ているように思います。

コロナ禍により県外の学校訪問は出来ていないが状況に応じて出来ていると思う。

コロナで難しい面もあるが、学校ガイダンスなど可能な限り活用している。

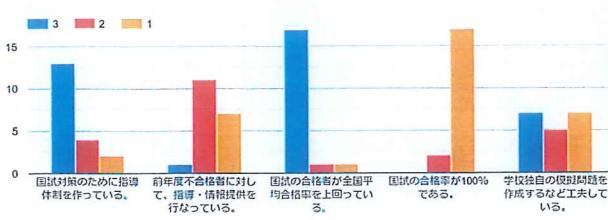
オープンキャンパスを丁寧に行なっている。

応募倍率目標を把握していない。

コロナ禍での出来る限りの活動はしている。

実際に高校に出向き学校案内を行なっている。

2. 国試対策に個々の学生にあった指導・援助を行なっているなど、教職員一丸となって取り組んでいる。



国試対策はできている。2年次より対策を行い、クラス独自の問題を作成し学習状況を確認している。

前年度不合格者から連絡が来ない限り、情報提供はできない。学校独自の問題より、過去問を解いた方が効率的。

不合格者に対する支援は、積極的ではない。しかし、親身に相談等は実施している。学内での授業や、定期試験で国試を意識した出題形式、傾向を踏まえた試験問題作成前年度不合格者に対しては、こちらからのアプローチはしていないのでは？模擬問題は学校独自と言うよりは、業者介入の問題を実施している。

全教職員で直接国家試験対策に取り組むのではなく、それぞれが自分の役割を担っていると考える。

前年度不合格者への対応状況を知らないので分かりません。

不合格者に対して学校側から取り組みを行っていない。誰が対応しているのか不明です。

模擬試験は、独自のものは作成していないが、業者を複数活用している。

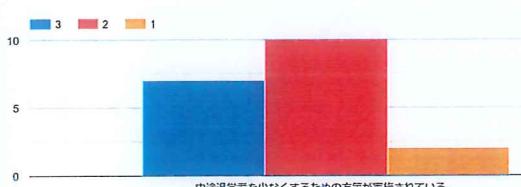
前年度の不合格者に足しては、初めに面談し、本人の意向を確認、予備校を進めている。ただ、連絡をしてこない卒業生は、対応は積極的にしていない。

国試対策の指導に関わっていないので、分かららない。

前年度不合格者に対しての指導は、行っていない。

してない。

3. 中途退学者を少なくする工夫・努力をしている。



教員による面談、臨床心理士による面談を実施。

努力はしているが、辞めたい気持ちが強い学生は止めることができない

理由にもよるが、本人の希望であれば仕方がないのでは？辞めさせているわけではないため。それを教員の関わり方はどうだったのかと言われても困る。

意思表示後の対応になっている。成績にかかわらず、面談等を通じ、サインがあれば、退学や休学を避ける方法を、本人の具体的行動の前に働きかける。

気になる学生の情報共有を行い面談をしている

方策は実施されていると思いますが、直接関わっているわけではないのでよく分かりません。

学生とのかかわり方がうまくできていないように感じる

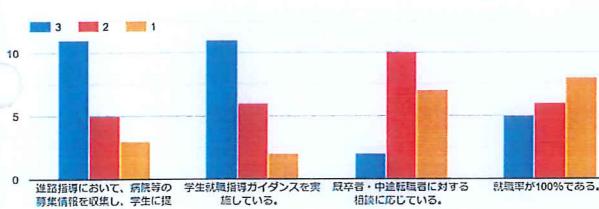
単位修得のための規定の見直しを行っている。その成果は、まだ不明。

把握していない。

学生の情報を共有して、クラス担当の先生やカウンセラーの方が面接を行っている。

面談し、話を傾聴し、一緒に改善策を考えているが原因が違う。

4. 卒業時の進路の選択の支援・相談を適切に行なっている。



既卒者等は知らない

既卒者等については、相談が少ないが、相談があれば応じている。

卒業生が来た際には職場の状況を聞いたりしている。

既卒者は自分で決めている。就職率は就職しない学生がいたため、100%ではない。

副校長により採用情報の提供や面接指導は積極的に行われている。就職では水光会が優先になることは当然だが、最後の皆の水光会は問題ないか。

依頼があれば相談には応じている。

就職に関しては、副校長はもとよりクラス担当も常時相談にのっている

関わっていないので分かりません。

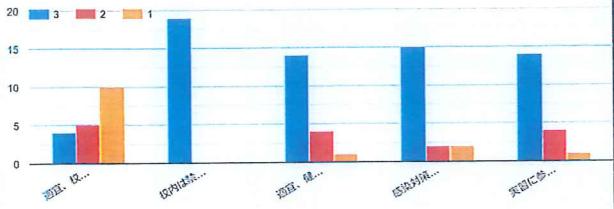
就職を希望すれば 100% 近年資格取得しても看護師として就職しない学生がいる。(或いは卒業後に、個人で就活)

進路指導に関わっていないので、分かららない。

既卒者・中途転職者の対応の状況はわからない。

していない。

1. 学生への健康管理の指導、サポートが出来ている。



学生には早目の受診をすすめ健康管理につとめている。

できている。

教員が全員看護師であり、健康管理に対する知識はあり、通常時に限らず緊急時には、対応策検討を速やかに行っている。

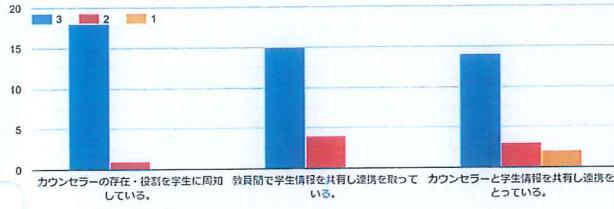
校医が常に不在のためできていない。必要時の対応。

コロナ感染症により、適宜感染状況を伝達し学生の指導をしている
校医との情報交換については分かりません。コロナ感染症に対する指標が曖昧であり、フェーズなどの作成が必要だと感じた
どのような指導・サポートを行っているか把握していない。

校医と情報交換については、わからない。

感染対策はできている。

2. 学生へのメンタルヘルスケアについて対応が出来ている。



気になる学生に関して黒瀬先生に相談している

できている。

学生の情報は共有されていると思うが、カウンセラーとどのような連携をしている
かが不明。カウンセリング情報はどこまで教員に公開しているのか

自殺したいという学生に関しては特に黒瀬先生と情報交換している。

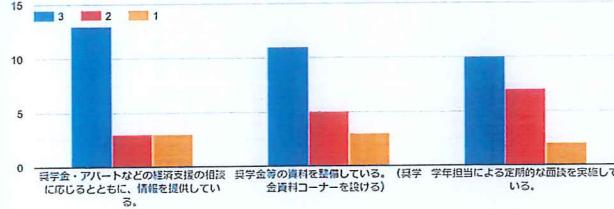
どの程度情報を共有し連携をとっているのかを把握していないので分かりません。

スクールカウンセラーは守秘義務があるため相談内容の開示はできないのではないか
でしょうか。相談者の同意があれば別ですが。

カウンセラーと情報共有しているかを把握していない。

情報共有している。

3. 生活面における悩みを相談できる体制ができている。



奨学金については、公的及び系列病院以外のものについては、適宜連絡ラインで周知している。

気になる学生に対して面談を実施しそのときの学生の思いを確認している
経済支援の相談は受けていない。面談は4月に行うが、それ以外何もなければ行わない。(面談をしなければいけないのであれば、業務が煩雑になる)完全ではないが、情報提供、相談、最善を尽くした対応を実施
定期的な面談はできていないが、必要時は実施している。

奨学金資料コーナーの設置の有無を把握していないので分かりません。

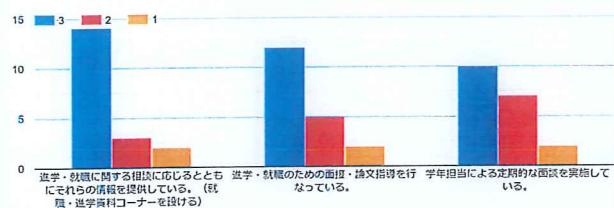
奨学金資料コーナーは設けていない。定期面談の頻度がわかりません。

学年担当と学生情報共有している。

把握していない。

面談する時間を下さい。(時間を作り出せない)

学習面における悩みを相談できる体制が出来ている。



特に学習低迷者に対しては学習指導を行っている。定期的に学習の評価を行い低迷者を変えている。

面接・論文の指導は天野副校長に依頼している。面談は3通り。

面接指導、書類作成、指導について学生は校長室をよく利用している。求人情報も提供している。

具体的な論文指導は行なっていないのではないでしょうか。

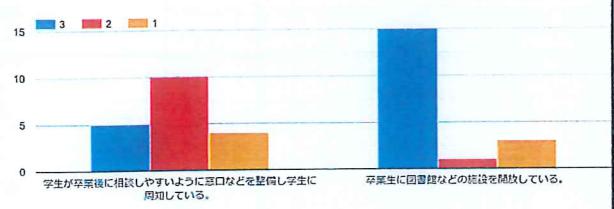
面接は副校長がして下さっており、学生から要請があれば適宜面談をしている。

定期面談の頻度がわかりません。

面談が実施などを把握していない。

定期的に面談できる時間を下さい。

5. 卒業後1年内の卒業生の現状及び抱えている問題点等を卒業学校として把握している。



卒業生に対する窓口を特別に設けているわけではないが、職員室等で応じている。

図書を利用している学生は多いと感じている

本校は卒業生に対し、開放している。

相談窓口が整備されているのか把握していないため分かりません。

相談窓口を設けているのか分からぬが、教員が対応している。

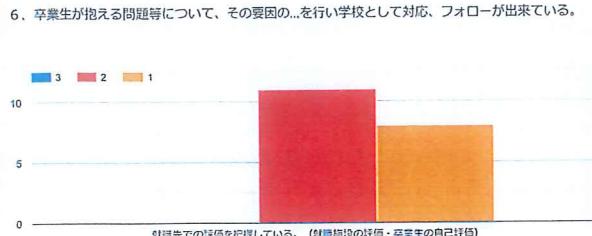
直近の卒業生宛にメッセージカードを送っている。

卒業生への窓口は特に設けていないが、対応できる教員や事務職が話を着たりしている。
その際、アドバイスを行うことがある。

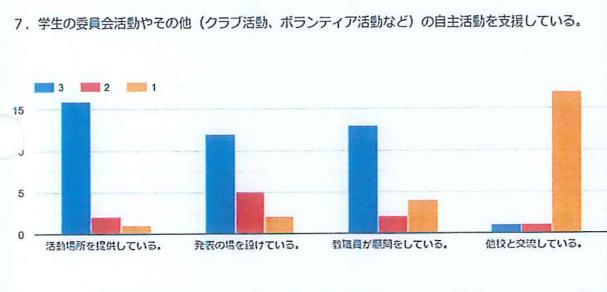
知らないので分からない。

卒業生の相談窓口としての環境はない。

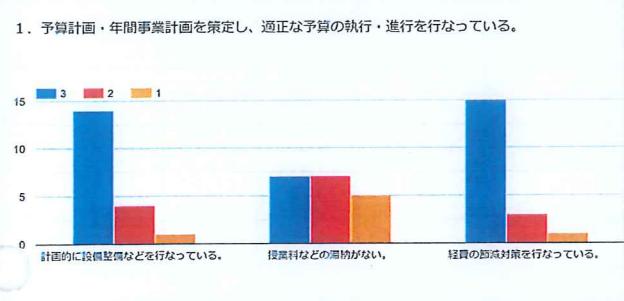
把握できていない。



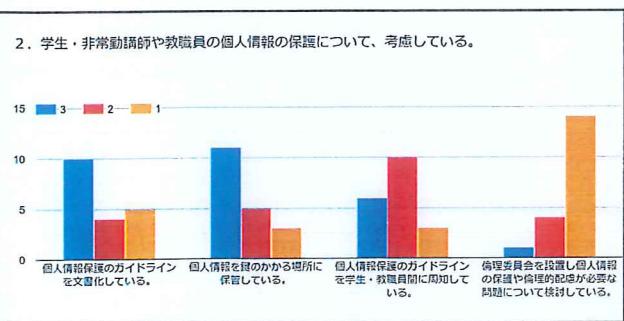
知らない
系列病院については対応しているが、他病院についてはフォローできていない。
水光会就職の学生から他の学生の状況を聞いたりしている
卒業生に対するアンケートの実施、情報把握をしていない。情報把握をしても学校としてできることが見えない。
水光会病院に就職した学生に関しては評価を聞くことはできるが、積極的にはしていない。問題があれば、臨床から報告があるというような状況。
水光会病院の卒業生のみ大まかに把握している。
関わっていないので分かりません。
特段何もしていない。
母体病院は把握可能。
把握をする手段は特にとっていない。ただし、水光会病院とは、月1回の教育連絡会で卒業生の情報共有をしている。実習先に卒業生が就職している場合は、比較的情報共有やすい。
知らないので分からぬ。
水光会以外の卒業生は把握できていない。
していない。
他校との交流は、お互いの時間的制約があり困難である。
他校と交流の機会があれば学生の刺激になると感じている。
活動は制限していない。委員会は必須、ボランティア活動とクラブ活動の活動評価が曖昧、ほとんどなし。
他校との交流はない。交流する目的がない。
他校との交流までは至っていないし、学生もそこまで行う余裕が現状にない。
自主活動の実態を把握していないため分かりません。
委員会活動は行っているが、その他の活動に関してはほとんど行われていない。
知らないので分からぬ。
他校との交流は出来ていない。
委員会活動を一緒に行なっている。中間報告や総会を行なっている。



V 管理運営・財政

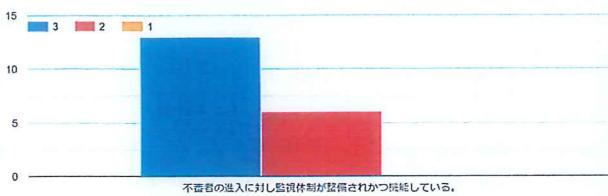


設備計画は前年12月までに希望をヒアリングのうえ、策定している。
物品を見直し節約できるよう心がけている。
ペーパーレスに努めている
計画的に予算を策し、執行されている。無駄をなくし必要な部分にお金をかける。
授業料滞納に関しては、状況を把握していないが、対象者がいれば情報提供がある。
ICT化によりペーパーレスに取り組んでいる。
滞納状況について知らないため分かりません。
退学した学生が授業料半額未納のまま除籍になるケースがある。
関わっていないので分からぬ。
備品の管理を行なっている。



倫理委員会は知らない
個人情報保護については、基本的な考え方等は周知しているが、設備面でのセキュリティは不完全な部分もある。
個人情報保護は徹底していると感じている。
学校は個人情報ばかりであり、すべてを完璧に管理、保管は難しい。ペーパーレス化を進めていくことが個人情報保護の始まり
倫理委員会は設けられていないが今後は検討が必要。
新しく教職員が入職するとき、個人情報を会議で言われることがある。自分も言われていたのかと心配になる。
倫理的委員会がない。しかし適宜倫理的配慮が必要な場合は検討しており、教員間では周知している。個人情報のガイドラインは実習ガイドラインに明記している。
把握していないため分かりません。
倫理委員会がない。
個人情報管理については、実習関連では規定しているが、その他学内に関しては。十分ではない。慣習的に管理されているところがある。現在ICT活用がメインになっていることもあり、個人情報保護のガイドラインは、早急に対応すべき事案と言える。
把握していない。
倫理委員会について把握していない。

3. 校内やその周辺は、安全性が保たれ防犯対策が整っている。



防犯カメラをつけている。学生に、そのつど注意喚起している

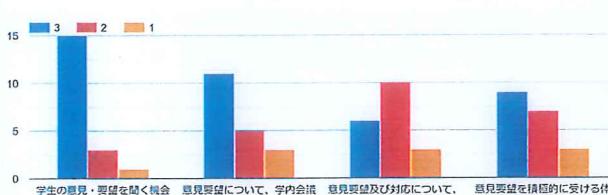
録画機能付き防犯カメラを設置しているが、部分的である。

防犯カメラは玄関にあるが、部外者が入ってきても気が付かない。

立て看板を設置。防犯カメラ設置。

ビデオカメラもついている。

4. 学校運営などに学生の意見が反映されている。



授業評価やご意見箱にて対応している。

何かあれば意見箱に投書するよう指導している

委員会でできている

意見を聞く機会、体制は温度差がある。学生と教員、教職員など。要望の対応を学生に公表したということを知らない。

受け入れはしているが、学生の意見をそのまま受けすぎる印象もある

意見・要望を聞く機会が持たれているのは把握していますが、対応策を検討しているか等については把握していないため分かりません。

学生の声を直に聞いている。(意見箱)

調理実習室に意見箱を設置している。昼休みなど一番出入りする場所に設置している。意見・要望については、その内容により選択し、検討、公表を行っている。

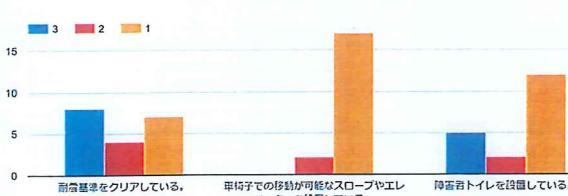
知らないので分からない。

意見要望及び対応の公表は差し支えない範囲で行われている。

年1回、総会があり、意見・提案の検討をしている。

VI 施設設備

1. 校舎は、耐震性に優れ、バリアフリーなどに配慮された構造になっている。



スロープや障害者トイレについては、費用の関係上、当面の整備は困難である。

災害のことを考えていかなければいけないと思う

階段しかないでバリアフリーではない

学校利用者がバリアフリーを必要とする事はないと思うが、看護という仕事を考えたとき、授業、実習や日常で、バリアフリーな環境が必要ではある

スロープ、エレベーターおよび校内にも障害者トイレが必要だが、構造上無理。

エレベーターやスロープがなく、設置する予定もない。

耐震基準が分からぬ。バリアフリーではない。

費用的に厳しい。

昭和57年以降に建設しているのでクリアしている。

ハード面の問題の為、エレベーター設置は困難。玄関には、簡易のスロープは置いている。

耐震基準をクリアしているかは把握していない。バリアフリーではない。

耐震基準をクリアしているのか、不明。

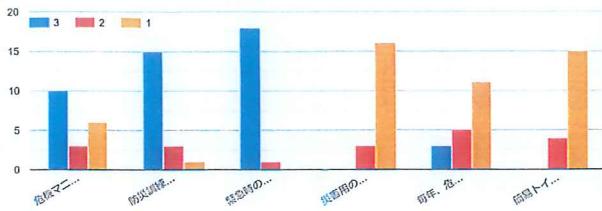
備蓄において看護棟なら必要ではないかと考える。

災害用の食料などの保管場所を知らない。

危機管理については整備が進んでいない、していない。

災害用物品は準備されていない。準備する場所がない。今後災害が起こったときには学校も避難場所となる可能性もあるため、準備は必要と考えます。危機管理マニュアルは必要。

2. 災害などの非常時の危機管理が整っている。



あるのかもしれないが周知されていない。

危機マニュアルを作成しているのかどうかが不明。また災害用の毛布やタオルは講義等で使用しなくなったものを保存して災害用に使用したい。

把握していないため分かりません。

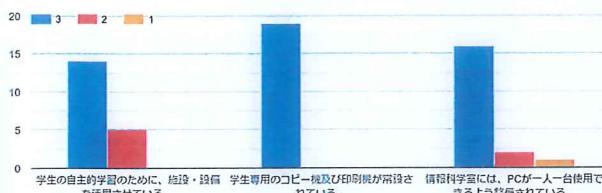
備蓄関連は、出来ていない。検討は必要

マニュアルがどこに保管されているのか把握していない。

毎年、危機管理マニュアルの見直しを行っているのかは、把握していない。

災害時の対応はできないと考える。

3. 教育目標達成に必要な施設・設備が整っており、活用されている。



特に問題ないと感じている

できている。

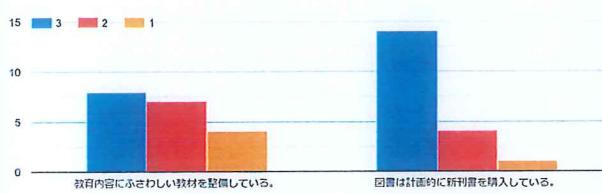
パソコンなどITに関しては、Wi-Fi環境も充実させ、IT化を進めている。教室・施設に関しては老朽化していることは否めない。

PCが一人1台使用できる環境にはなっているが、これから電子化される中で、この問い合わせをどのように考えたらいいですか。

教材については、十分であるかはわからない。

アーツルームの使用方法をどうにかしたい。

4. 教育目標達成の教材が整っており、活用されている。



教材については、計画的に購入を進めている。

教材を見直しながら整備している

できている。

教室・施設に関しては老朽化していることは否めない。

年1回の図書選定会議で検討し購入している。

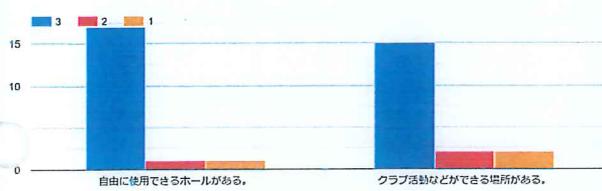
教材については関わっていないので分かりません。

関わっていないので、分からぬ。

教材、図書については、十分であるかはわからない。

結構自作が多い。

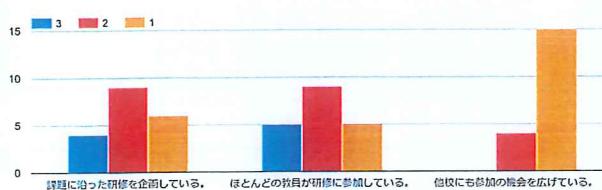
5. 学生のために、休息・親睦及び交流などを行うためのスペースが設けられている。



意見なし

VII 教職員の育成

1. 学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行なっている。



他校への研修は、システム的に困難であるが、系列病院での研修は実施している。

時間が許されるかぎり研修を実施したい。他校の教員と問題を抱えている学生について勉強会を行い教員間で共有していきたい

他の教員の研修の有無はわからない。

職場内研修の実績をほとんど知らない。

職場内での研修の企画はない。他校との交流はない。

研修予定であったが、実施できなかった。

知らないので分かりません。

教員研修受講教員は他校に研修を行っている

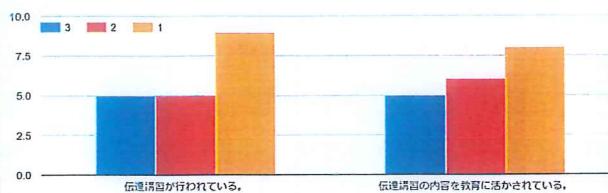
可能な限り、学生の長期休業中に企画実施するようにしている。

関わっていないので分からぬ。

職場内研修は今後の課題。

ないです。

2. 研修や出張で学会などに参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがある。



参考になる部分は教育に活かしている

詳細不明

伝達講習があれば、内容は参考になるが、講習会参加件数が少ない。

研修に参加できていない

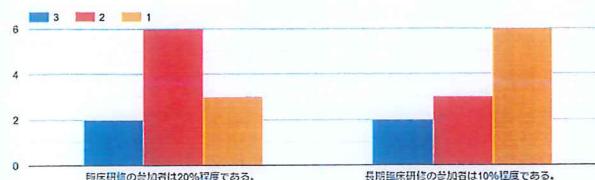
伝達講習が行われているのか知らないので分かりません。

関わっていないので分かららない。

伝達講習が行われているのかがわからない。教職員会議を報告の場にしてはどうか。

今はできていない。

《教員》3. 教員が計画的に臨床看護研修に参加している。



知らない

まだ、臨床研修はできていない。新カリとなったので新しい施設においては研修を行いたい

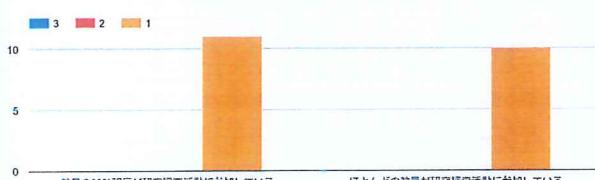
長期臨床研修は現状できない

長期の臨床研修参加は現状では難しい。臨床研修も参加時期や臨床の状況も踏まえた検討が必要。コロナ感染状況など臨床に入れない可能性もある。

比率はわからない

今年度夏休み研修に参加教員は2名であり、20%弱である。本来3名参加予定であったがコロナ感染の急増により参加できなかった。長期臨床研修の長期とはどのくらいの期間を指すのか？

《教員》4. 教員が計画的に研究調査活動を行なっている。



知らない

研究をしたいと考えていても時間がない。時間は自分がつくるものであると思うができない

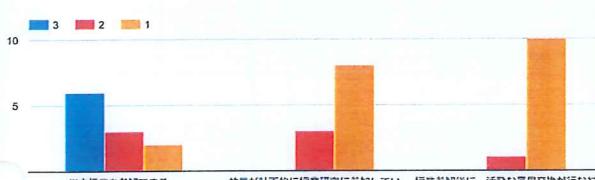
研究のための準備が整わない。

自己の研究にまでは至らないが今後したいと考えている。

業務がどうしても優先され、研究活動まで行動できていない。

していない。

《教員》5. 教員の授業を他の教員が参観・講評できる制度がある。



参観したいが時間がない

参観はできるが計画的に参加はできていない。他の先生からの意見を聞きマンネリ化を脱却したいと考えている。

他の講義を見に行く時間がない。(実習等でまだ自分に余裕がない)

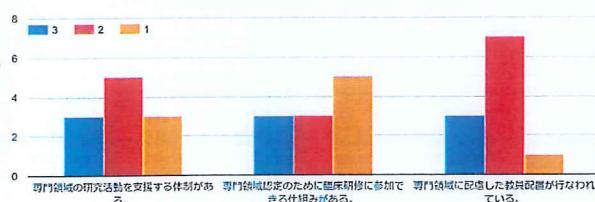
今年度は実施できていない。

いつも講義に入ってよいが、それぞれの余裕がなく、できていない。

他の教員の授業参観は可能としているが、実施されていない。入職したばかりの教員には教科の指定をして参観している。

参加しなければ無視されるし、時間がなく途中で参加すると、態度を1時間以上指導された。

《教員》6. 教員の専門領域の質を高めるような支援が整っている。



臨床研修は知らない。専門外を担当している。

専門領域の教員は配置されていると思うが、臨床経験を反映されているとは思わないときがある。基礎看護に関しては全ての教員が対応していいとおもっている

専門でなくても言わわれたらするしかない

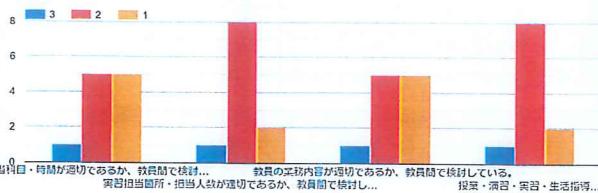
体制は整っていると思われるが、様々なことを調整しなければできない状況。

専門としてそれに応じた臨床研修を配置している。

支援体制は、整えているが活用は出来ていない。臨床経験と本との意向を配慮して専門を持っている。

していない。

《教員》7. 教員の心身の健全化を保つために適切な業務調整をしている。



検討しているというより、割り当てられた担当を精一杯やっている
検討できてるときと検討できていない時がある。

授業時間がすべてではない。実習施設等も加味して頂かないと、一人では無理などころもある。

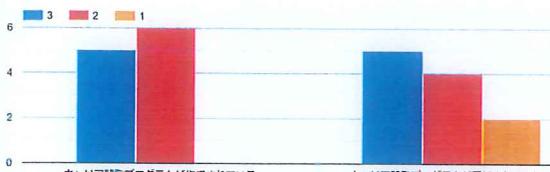
業務内容は適切でないと思う

科目担当、時間は副校長・教務主任が実施、実習担当は調整と教務主任が検討しており、教員間で検討するシステムがない。

状況に応じ、調整を教務会議・ミーティングで検討しているが、経験の差があり偏ることもある。

負担しかない。

《教員》8. 教員のキャリア開発ラダーが整っている。



プログラムができているがまだ実施されていない

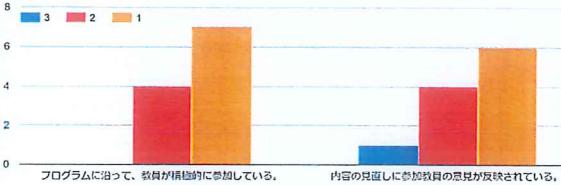
できている。

本年度より実施

作成されているが、説明と実施がされていない。

途中です。

《教員》9. 教員のキャリア開発ラダーが活用されている。



実践できていない

まだ実施していない

本年度からの取り組みであるため判断が困難。

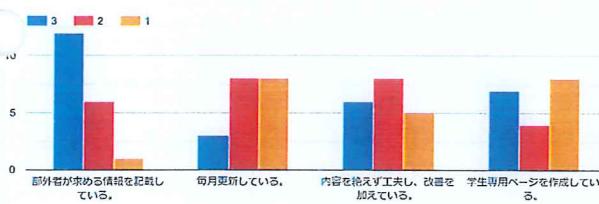
実施未

作成されているが、実施できていない。実施予定である

保留のままです。

VIII 広報

1. ホームページは、適時更新し、見やすくしている。



どのタイミングで更新されているか知らない。随時閲覧はしている

毎月更新しているわけではないが、必要があれば随時更新している。

毎月の更新はできていない。学生専用ページはあるが活用されていないように感じる。

卒業時にアナウンスが必要ではないかと思う

できている。

ホームページに部外者が求めるものの検証ができるのかが疑問。HPとインスタの役割を、明確化

現在修正中

更新頻度、学生専用ページの有無について把握していないため分かりません。

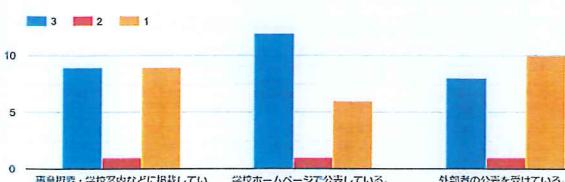
今年度リニューアルしている。トピックスは、可能な限り更新させている。

学生専用ページに該当する箇所が分からず。

HPを常に更新・改善をしていく為には、専任の広報担当を置く必要がある。

現在、新しく更新されている状態。

2. 学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に何らかの方法で公表している。



知らない

外部者の講評については、今後の検討課題である。

確認していないのでわからない

できている。

情報公開の方法については認識なし

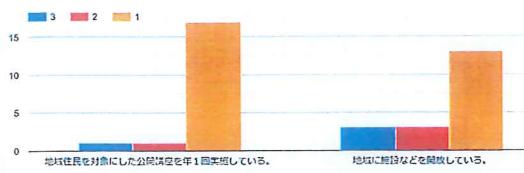
把握していないため分かりません。

外部の公表を受けているか把握していない。

よくわからない。

IX 地域との連携

1. 地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元に還元している。



知らない

病院グループとしては公開講座を実施している。

小児、母性に関しては公開講座はあるが、老年に関しては講座がないため、学生を活用し高齢者と触れ合う機会を作りたい

コロナ禍でできていない

地域への施設開放、公開は行っていない。今後は開かれた学校も必要となる。

トイレは設置されている

地域に向けた開放は実施する予定がない。

把握していないため分かりません。

福津市レディースマラソン、近隣子供会に駐車場貸出。福津市が主催する保育士講演開催。

駐車場の活用を要請があれば行っている。

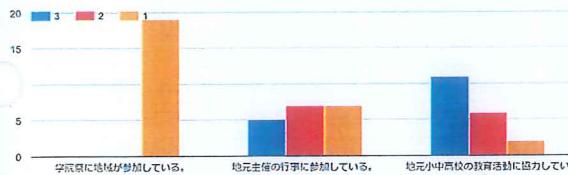
関わっていないので分からず。

公開講座はコロナの状況と時間的な余裕がない為、現状では実施が難しい。

年に数回、駐車場の開放を行っている。

わからない。

2. 地域との協力関係が確立している。



コロナの影響でか参加はできていないと思う

学院祭は体育祭的な色彩が濃いものが殆どであったため、地域住民の参加は困難である。ただし、文化祭的なものであれば、今後は検討して行く。

学院祭は地域の人にも学校を知つてもらう機会になるので参加を促したい。以前は施設の祭りなどに参加していたが現在はコロナ禍でできていないが、できるようになればどんどん参加をしていきたい。昨年からボランティア活動として小学生と触れ合っているが、まだまだなので教科外活動として参加していきたい

ボランティアで地域には参加できているが、学院祭に地域は参加していない。

地域の小学校の行事や、ボランティア、どうに参加する機会が増えている。

今年度は小中学校の教育活動に参加している。ボランティア活動の一環として行事に参加している。

小学校や地域のボランティア活動を行っている。

学生がボランティア活動に参加しているのは何となく知っているが、程度や状況など内容をあまり把握できていないためよく分かりません。

小学校の活動には協力しているが、中学高校はしていない。

地域の小学校などのボランティアに学生が参加している

関わっていないので把握していない。

最近では地域の行事に参加する事が多くなっている。学院祭は今年の様な文化祭形式であれば、コロナの状況次第では地域の方の参加可能。

コロナのためできていない。

「自己評価」に対する評価について

○ 評価するべき点

- ・学校経営については、過去5年内では、平成30年度と同じく高い評価である。その大きな理由として、運営会議・教務会議において、各々本来の役割の機能がうまく作用している。
- ・教育課程・教育活動(1)は、教育理念、教育目標及び教育課程の評価が高い。これは改正カリキュラムにおいて全教員が共通認識を持てた事が大きな要因であることが推測される。
- ・教育課程・教育活動(2)では、実習の実施など、学生と教員側との協働体制の教育が多いが総じて良好である。お互いの信頼関係が醸成されている土台ができあがっていると評価できる。
- ・入学・卒業対策については、国試合格率以外は概ね良好である。特に、進路指導における病院等の募集情報や学生就職指導ガイダンスなど大いに評価できる。
- ・学生生活への支援は、卒業生が抱える問題等についてのフォロー以外は概ね評価が高い。在校生に対する支援がうまくできていることは大いに評価できる。
- ・管理運営・財政については、予算計画・年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行を行つており、経営基盤の安定性が評価できる。
- ・施設設備については、教育に関するものは概ね良好であるが、自然災害が多い昨今の状況から災害などの危機管理にもう一歩努力して欲しい。
- ・HPについては、you tube チャンネル等も活用し学校案内をしており、概ね評価できる。

○ 改善するべき点

- ・学校経営について、中間評価がほとんど実施されず、実施が困難ということであれば、仕分けして可能な項目のみ実施してもいいのではないか？
- ・教育課程・教育活動(1)では、時代の要請・変化に対応できていないことやシラバスが授業内容と一致できていないなど改善すべき点がある。
- ・教育課程・教育活動(2)では、前年同様、学生に対して人権の配慮の評価が低い。学生の人権に対する職場内・外での研修などを充実させて欲しい
- ・入学・卒業対策については、「国試合格100%」が目標である。昨年度は、不合格者が1名であったが、引き続き教職員一丸となって取り組んで欲しい。
- ・学校生活への支援については、卒業学生の問題点などを把握していくのは多少無理がある。むしろ卒業生の1年後・3年後などの現状を話してもらう機会を増やす懇話会の設置などの工夫もある。
- ・管理運営・財政、支援設備については、災害などの危機管理が弱点である。昨今は、予想できない自然災害が発生しており、災害用の食料、毛布、タオルなどを確保していくことも求められている。
- ・教職員の育成については、通常業務に忙殺されてなかなか実施されてないよう評価が低い。期初に年度内の講習会や研修会への参加者を決めておいて、各部署で必ず参加させるような努力をして欲しい。
- ・地域との連携はコロナ禍での影響もあり低評価である。ただし、地元小中高校への教育活動への参加が増えてきており、今後一層の活動が期待できる。

以上のとおり、評価いたしました。

令和4年10月8/日

真鍋忠



「自己点検・自己評価」に対する評価について

○ 評価するべき点

- 「学校経営」について概ね高評価で、前年より評価が上昇していることは良い傾向。
運営会議・教務会議等、各種会議が定期的に開催され、情報共有や意見交換の場として機能しており、特に評価のフィードバックがかなり厳正に行われている点は評価される。
- 「教育課程・教育活動(1)」では、教育理念、目標及び課程の評価が高い。卒業生像が明確で、その目標に沿って教育が行われていることがうかがえ、大いに評価できる。
- 「⁽²⁾」も概ね高評価。評価の公平性や妥当性及び協調体制は良好。
学生の教育や評価、さらに改善について、確信をもって進行されていることがわかる。
- 「入学・卒業支援」は国試合格率以外は良好。特に進路を含む学生支援については評価が高く、学生に寄り添い姿勢がうかがえる。又、コロナ禍の中での入学生確保も工夫がなされ実施されている点は評価される。
- 「学校生活への支援」では、学生の健康管理やメンタルケア対応や个体化は充実しており、在校生への支援が行き届いていることは評価される。加えて、卒業生へのフォローアップが整えば、学生支援はさらに充実する。
- 「管理運営・財政」については、まずは必ず評価がされており、安定した運営状態がうかがえる。
- 「施設設備」では、教育に関するものは概ね良好であるが、自然災害が多い昨今の状況からすると、災害時の危機管理はさらなる充実が望られる。
- 「広報」については、HPの更新及び学校関係者以外の評価については概ね良好である。

○ 改善するべき点

- 「学校経営」において、中間評価が「行われておらず」、この結果が「後期に反映されないのは残念。
時期的に困難であるならば、項目を終るなど改善できないものか。
- 「教育課程・教育活動(1)」で、シラバスと授業内容の不一致、内容や指導方法が「学生のレベルに合っていない」という点は問題。原因を整理し明確化の上、改善へつなげてほしい。
- 「⁽²⁾」で、学生に対する人権の配慮のみ評価が低い。前年と同様である。
教員への研修などから取り組むべきではないか。
- 「入学・卒業支援」では、国試合格率100%実現まであと一步(昨年度、不合格者1名)の水準まで来て
いる。引き続きの努力が望される。
- 「学生生活への支援」では、卒業生に対するケアが「前年同様に低評価」。具体的に支援方法を検討すべし。
- 「教職員の育成」についても、前年同様の低評価。通常業務の繁忙さで余裕がないことは理解できるが、それでも実現可能な取組みを検討すべき。
- 「地域との連携」も低評価であるが、地元主催の行事への参加や、中高の教育活動に協力するなど、改善が見られる。引き続き、地域との連携の進展が望まれる。

以上のとおり、評価いたしました

令和4年10月29日

若狭浩子